

## 平成 26 年度第 2 回しなの鉄道活性化協議会 議事概要

日時 平成 26 年 11 月 17 日 (月)

13 時 45 分～15 時 00 分

場所 上田市 上田駅前ビル「パレオ」

### 1 開 会

### 2 会議成立の報告 (事務局)

委員 26 名中 17 名が出席。出席者が過半数を超えており会議が成立していることを報告。  
(協議会規約第 6 条第 2 項)

### 3 あいさつ (しなの鉄道活性化協議会会長)

本年度は総合連携計画に基づく計画事業実施の 5 年目、最終年度でございます。お陰様で沿線自治体の関係の皆様をはじめ、大変なご協力をいただきましてここまでほぼ計画通りの事業が進捗している状況でございます。本当にご協力ありがとうございました。

ところで、本年度上期の輸送人員の関係でございますが、定期外につきましてはほぼ前年並みの数値ということになっておりますが、定期券を含めた全体としては、特に消費税の駆け込み購入の反動もございまして若干前年を下回る状況となっております。今後は、下期に向けましても皆様方のご協力を得ながら、昨年以上の数値となるよう精一杯がんばっていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い致します。

それから、観光列車「ろくもん」の関係でございますが、7 月 11 日の運行スタートから 4 か月余りが経過をいたしました。お陰様で乗車されたお客様からは大変高い評価を受けているという状況でございます。乗車率もこのところ全国ネットのテレビ番組であるとか、或いは雑誌などに度々取り上げられている状況もございまして徐々に伸びております。今後、おもてなしといった面も含めてより一層魅力ある列車として皆様から支持されるように最大限努力をして参りたいと思っておりますので、この関係についてもどうぞよろしくお願い致します。

また、北しなの線の関係でございますが、開業日が来年 3 月 14 日に決まりまして、いよいよ開業まであと 4 か月を切ったという状況になっております。準備につきましては、ほぼ計画通り順調に進んでおりまして、先月は私ども技術センターの豊野派出所が開設いたしました。いよいよ北しなの線の関係が目に見える形で我々の前に迫ってきたということではないかと思っております。開業に向けての最大の課題は何と言っても利用促進の関係でございまして、現在、関係の皆様と具体的な取り組みを検討中でございますけれども、これをより一層効果的なものにするためには、当協議会との連携が極めて重要ではないかと考えておりま

すので、どうぞこの関係につきましても、今後皆様方の最大限のご協力の程を是非ともよろしくお願ひしたいと思ひます。

いずれにしましても本日は皆様方から忌憚のないご意見を色々賜りながら活発な議論を展開したいと思っておりますのでどうぞご協力の程をよろしくお願ひ致します。

#### 4 協議事項 (議長：会長 協議会規約第6条第1項)

- (1) 平成25年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価(一次評価)について事務局から「資料1」を説明。

<議長>

昨年度の事業の関係の自己評価という形になります。坂城のエレベーター関係で若干入札等の問題もあって評価が「B」になっておりますが、他は「A」という形になっております。これは運輸局に報告する形になっておりますので、これについてご意見があれば出していただきたい。

特別ご意見がなければこの形で運輸局に報告したいと思ひます。

(質問・意見等なし)

報告のとおり承認。

- (2) 観光列車運行開始後の状況について

しなの鉄道沿線観光協議会事務局長から「資料2」を報告。

<議長>

「ろくもん」の関係をまとめて報告しました。予約状況はお示ししたとおりでありまして、全国的なテレビ番組や雑誌などに取り上げられてきており、徐々に上がってきております。私ども乗車率は7割を目的としておりまして、10月は食事付プランが初めて目標に達したということで、これから期待をしているといった状況です。それからおもてなしの関係も、駅ごとに色々工夫をしていただいております。特に戸倉駅は千曲市の観光協会の方で運行日にはほぼ毎日毎回必ず駅頭に立ち、パンフレット配布や手振りをやっていただき、私どもとしては本当に頭の下がる思いなのですが、ご協力をいただいております。他の駅の関係についても、小諸駅では停車時間を利用して列車を降り、隣にある駐車場ガーデンを散策していただくとか、本社前を通過する時には必ず手の空いた社員は手を振るとか色々なことをやっておりまして、いずれにしてもこういったおもてなしサービスというものがリピーターに繋がる可能性が極

めて大きいので、これについては今後も力を入れていきたいと思っております。

それからアンケートをとってございまして色々ご意見をいただいておりますが、圧倒的に素晴らしかったという意見が多いのですが、その中でも注目しているのが、こういうことをしたらもっと良くなるのではないかと、こういった点はまずいのではないかと、時にそのような意見がありまして、そういうものが今後の改善のヒントになるのではないかと思っておりますので、できるだけ参考にしながら改善したいと思っております。先ほども報告がありましたが、BGMについても早速ジャズを流すとか色々工夫をしております。また、他に多い意見としては子供用のメニューがないので欲しい。これは少し研究しなければいけないと思っておりますし、北しなの線が開通したらそちらの方にも通して欲しいとか、或いはこういうグッズが欲しいとか色々ありますので、できるだけお客様の意見を取り入れるような方向で今後努力をしていきたいと思っております。

あと、メディアへの露出は記載の通りで、ここへきて全国ネットのテレビなどでも取り上げられており、雑誌についても先日、週刊文春にも出てございまして、だいぶ浸透しつつあると思っておりますし、或いは先週、三越の新春の福袋の発表会があり私も行きましたが、「ろくもん」を三越の福袋の一つに取り上げていただきました。三越では夢袋と言っておりますが、そういった意味では色々な形で取り上げられてきて今後が楽しみだと思っております。

ただ、課題も非常に多いことは確かなので、それについては内部的に十分検討して、元々が沿線地域の魅力満載列車というコンセプトでやっておりますが、その沿線地域の魅力をアピールする点において、お土産やイベントをやったり、地域の食材を使ったりしておりますが、もう一つかなという感じがします。その辺は今後、おもてなしの関係も含めて地域の魅力が最大限アピールできるように、そういう方向で色々検討をしていきたいと思っております。是非皆さんもご意見がありましたらお寄せいただきたいと思っております。

(質問・意見等)

ア. この中にある車内ツアーというのはどういったことをやるのですか。

<議長>

私が推測するには、全席指定席ですので基本的には席が固定されてしまいますが、「ろくもん」は3両ありまして、それぞれタイプが違う車両なので車内を紹介するようなことをやってもいいのではないかとという意味ではないかと思っております。

イ. 私ども会議所の部会で行って参りました。2回ほどやりましたが、皆さん初めての経験だったのですが、非常に斬新な雰囲気の中で喜んでおりました。

ウ. 上越の商工会議所の皆さんからは是非乗ってみたいという声が多かったものですから、それは食事付プランではなくて上田から長野まで乗ってもらうということで、今度は是非食事をしてみたいという声はありまして、食事プランもいくつか声を聞く中ではちょっと高めかなという声も結構聞かれましたので、その辺も少し段階的に分けられるのか。あと、イベント列車みたいなものも前に考えられると聞きましたので、紹介していただければそこに利用させてもらうような形で、色々なツアーも組んでおりますのでそれも一緒にタイアップみたいなものができたらと思いますので、そういう情報も教えていただければと思いますのでよろしくお願いします。

<議 長>

今の「ろくもん」は定期列車だけなのです。その他の形態としては貸切というか企画的な列車も必要に応じて設定したらどうかと思っておりますので、例えば先日も上越の関係の方が見えられた時も言ったのですが、「ろくもん」のコンセプトが真田幸村なのです。上越は上杉謙信がありますので、真田と上杉という組み合わせでストーリーを作って、企画列車を走らせてみるとか色々なコンセプトが考えられますので、そういうような使い方もこれから研究していったらどうかと思います。

エ. まさに上田商工会議所と上越商工会議所で今、2年、3年くらいの計画で観光ルートを作ろうという計画で国の補助金を使いましてやっているものがありまして、その中の意見で両方観光列車、こちらは「ろくもん」がありますし、あちらの方は「越乃 Shu \* Kura」というJRの観光列車があるということです。そういったものの利用も行程に含めたり、そういうことを検討しておりますので是非協力いただきましていいものを作っていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

(3) その他 北しなの線開業に伴う協議会の運営について  
事務局から「資料3」を説明。

<議 長>

こちらの協議会と、北しなの線関係で現在、運営協議会というものが設置されておるということで、今後北しなの線が開業した時にどういう形で運営するのか、一体的にやるのか、それぞれでやっていくのかということをおもは、ずっと検討して参りました。今日は一定の提案をして皆様にご判断をいただきたいということなのですが、案としては書いてあるとおり、当分の間は統合しないでそれぞれ独立して運営を行うこととしてはどうかということをございます。ただ、私どもの気持ちとしては、しなの鉄道線も北しなの線も同じしなの鉄道という会社が経営する同じ路線だという意識を持っておりまして、たまたま長野～篠ノ井間が抜けてしまっておるものですから、

別の路線であるかのような感じになっていますが、私どもの気持ちとしては同じしなの鉄道の路線だということで、できれば一体的に運営をしたいと思うのですが、理由に書いてあるとおり、今までの経過を踏まえると直ちに統合ということが事業を実施する上で必ずしも効率的効果的ではないとか、或いは設備投資の関係が現状路線ごとになっているとか、そのような事情があるので当分の間は統合しないでそれぞれ独立して運営を行うこととしたらどうか。ただ、やはり本来は一体的にやるということが望ましいし、そのほうがむしろ効率的な事業運営ができる場合があるのです。ですから、統合はしないのですがそれを補うために定期的に連絡会というものを開催したらどうかというのが本日の提案の主旨なのです。提案の趣旨をご理解いただいたうえで皆様のご意見を伺いたいと思います。

(質問・意見等)

オ. どうなるのかと思っていましたが、今日こういうことで当然こちら側がしなの鉄道になってから15年以上ですよ。今まで積み重ねてきた継続的なものがあるということで、今度は新たにということでも取り組みに対しても差が当面ありますので、私はご提案のとおりでよろしいのではないかと考えております。ただ、長野市さんが大変だという思いが、両方に出席されるので、メンバーに入られるはずですから大変だなど、もちろん会社の皆様もそうなのですが、当面はこういうことで仕方ないのではないかと私は思います。

カ. 長野市といたしましては率直なところ双方の協議会のほうにご参加させていただくという形で、将来的な構想といたしますと、やはり一つの路線ということが原則かと思われまますので、当面はこういった形だとして将来的にはある時点から統合に向けたご説明をしていただければありがたいと思います。

キ. 今回のこの案のとおりでいいと思います。ただ、開業当初はというと一点引っかかるのは今までしなの鉄道の沿線9市町でやってきた事業負担割りみたいなものが色々あった場合ということであるのですが、これから先に統合される予定なので今言っても仕方ないが、その時に株の購入率で負担金とかの関係があったと思いますが、それについてしなの鉄道サイドはどのような予定をして一本化したいかということが見えないので教えていただければと思います。

<議 長>

まだ、そこまで統合する時の色々な方法論については議論が深まっていないので、今の段階では何とも言えません。

ク. 北しなの線の関係につきましては、3月14日開業ということで準備を進めているところですが、正直申しまして運営に係る部分というのは全然把握できていない面が多いということで、本当にしなの鉄道線の沿線の皆様には15年以上ということで大ベテランでございまして、北しなの線側としますと教えていただいてこれからの利用促進に努めて参りたいという考えでございまして、当面の間はどのようにすればよいかという案は持ち合わせていないところでございます。

ケ. 県としましても長野市さんと同じように両方の協議会に関わらせていただく立場でございまして、当面は今回のご提案のとおりやっただいて、将来的にどうするのか、また検討していただければよろしいかと考えております。

<議 長>

何人かの方に伺いましたが、今回の提案でいいのではないかという意見が多いように思いますが、そういうことでよろしいでしょうか。

それでは今回の提案どおりということでご賛同を得られたということでございますので、そのように取り計りたいと思います。ありがとうございました。

報告のとおり承認。

5 閉 会

以 上